

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅰ(2グループ)			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	120	時間	単位
担当教員	野口 岳史	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	日常会話ができるレベルに達することを目標とする。 ナチュラルアプローチ指導法で語彙を導入し、インタラクションしながら進行する。
到達目標	手話で日常会話ができる
授業内容(予定)	
1	【名前】
2	【家族】
3	【住まい】
4	【出身】
5	【職業】
6	【略歴】
7	【通勤通学】
8	【タイムスケジュール】
9	【朝の行動】
10	【夜の行動】
11	【朝食】
12	【飲み物】
13	【昼食・夕食】
14	【干支】
15	【ペット】
16	【スポーツ】
17	【スポーツのルール】
18	【オリンピック開催地・国名】
19	【部活】
20	【旅行】
21	【病気・怪我】
22	【酒】
23	【運転免許】
24	【車・違反】
25	【駐車場・事故】
26	【部屋割り】
27	【教科】
28	【通知表・期間】
29	【受験】
30	【失敗談】
31	【月々の支払い】
32	【ゴミ】
33	【レシピ】
34	【手話通訳士試験】
35	【聴覚障害者に関するドラマ・映画】
36	【聴覚障害者の職業】
37	【ろう教育・ろう学校】
成績評価の方法	インタラクションによる評価
成績評価基準の内容	出席・授業への参加態度(90%)、課題・レポート提出(10%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	手話通訳学科専任教員(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話 I (1グループ)			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	120 時間	単位数	7 単位 ●
担当教員	野口 岳史	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	日常会話ができるレベルに達することを目標とする。 ナチュラルアプローチ指導法で習得した内容をもとに、グループでの活動を中心に行う。
到達目標	手話で日常会話ができる
授業内容(予定)	
1	表出トレーニング①
2	表出トレーニング②
3	表出トレーニング③
4	グループワーク①
5	グループワーク②
6	グループワーク③
7	グループワーク④
8	討論①
9	討論②
10	討論③
11	プレゼントレーニング①
12	プレゼントレーニング②
13	プレゼントレーニング③
14	プレゼントレーニング④
15	まとめ
成績評価の方法	実技評価
成績評価基準の内容	出席・授業への参加態度(70%)、実技(30%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	手話通訳学科専任教官(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅱ			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	100 時間	単位数	6 単位 ●
担当教員	福光 あずさ 木村 晴美	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	手話で日常会話ができるようになるための授業の復習をメインの講師とは異なる講師で行う
到達目標	手話で日常会話ができる
授業内容(予定)	
1	【名前】【色】
2	【家族】
3	【住まい】【出身】
4	【略歴】
5	【干支】
6	【夜の行動】
7	【通勤通学】
8	【帰省】
9	【朝食】
10	【飲み物】【昼食・夕食】
11	【嫌いな食べ物】
12	【GW】
13	【スポーツ】【スポーツのルール】
14	【オリンピック開催地・国名】
15	【部活】
16	【旅行】
17	【病気・怪我】
18	【酒】
19	【運転免許】【車・違反】
20	【駐車場・事故】
21	【部屋割り】
22	【教科】
23	【通知表・期間】
24	【受験】
25	【失敗談】
26	【月々の支払い】
27	【ゴミ】
28	【レシピ】
成績評価の方法	インタラクションによる評価
成績評価基準の内容	授業への参加態度(50%)、実技(50%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	NPO法人手話教師センター登録手話教師、日本社会事業大学非常勤講師(ろう者) 手話通訳学科元主任教官、NHK手話ニュースキャスター(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅱ		授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	100 時間	単位数 6 単位 ●
担当教員	小野寺 善子	履修分類	専門科目	科目分類 手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	A 暗唱を通して手話のプロソディや通訳に必要な短期記憶力を身につける。 B 4コマ漫画を読んでいない人に内容がわかるよう伝える技術を身につける。 C 示されたお題について調べ(情報収集及び分析力)、それを相手にわかるように手話で伝える「話す技術」を身につける。(相手は、日本の習慣や文化を知らない外国人を想定。1人3分程度。)	
到達目標	さまざまなテーマについて手話で説明できる	
授業内容(予定)		
1	A ビデオ教材 聴者のジョーク「アメリカVSロシア」① 理解・要約・言い換え・暗唱	手話語りを授業の前に視聴
2	A リピート ビデオ教材 聴者のジョーク「アメリカVSロシア」②	暗唱をビデオに収録
3	B 4コマ漫画の内容を手話で語るトレーニング「缶詰」①	手話語り(缶詰)をビデオに収録
4	B 4コマ漫画の内容を手話で語るトレーニング「缶詰」②(復習)	手話語り(缶詰)をビデオに再収録
5	C 手話で話すトレーニング「お歳暮」①	外国ろう者を想定 手話で説明したものを収録
6	C 手話で話すトレーニング「お歳暮」②(復習)	外国ろう者を想定 手話で説明したものを再収録
7	A ビデオ教材 聴者のジョーク「神は見ています」 理解・要約・言い換え・暗唱	手話動画を授業の前に視聴
8	A リピート ビデオ教材 聴者のジョーク「神は見ています」	暗唱をビデオに収録
9	B 4コマ漫画の内容を手話で語るトレーニング「ケーキに梅干」①	手話語り(ケーキに梅干)をビデオに収録
10	B 4コマ漫画の内容を手話で語るトレーニング「ケーキに梅干」②(復習)	手話語り(ケーキに梅干)をビデオに再収録
11	A ビデオ教材 聴者のジョーク「反ブッシュ」① 理解・要約・言い換え・暗唱	手話語り(ケーキに梅干)をビデオに収録
12	A リピート ビデオ教材 聴者のジョーク「反ブッシュ」②	手話動画を授業の前に視聴
13	B 4コマ漫画の内容を手話で語るトレーニング「探寸?」①	手話語り(探寸?)をビデオに収録
14	B 4コマ漫画の内容を手話で語るトレーニング「探寸?」②(復習)	手話語り(探寸?)をビデオに再収録
15	C 手話で話すトレーニング「招き猫」①	外国ろう者を想定 手話で説明したものを収録
16	C 手話で話すトレーニング「招き猫」②(復習)	外国ろう者を想定 手話で説明したものを再収録
17	A ビデオ教材 聴者のジョーク「星空が見える」① 理解・要約・言い換え・暗唱	手話動画を授業の前に視聴
18	A リピート ビデオ教材 聴者のジョーク「星空が見える」②	暗唱をビデオに収録
19	B 4コマ漫画の内容を手話で語るトレーニング「びんぼうゆすり」①	手話語り(びんぼうゆすり)をビデオに収録
20	B 5コマ漫画の内容を手話で語るトレーニング「びんぼうゆすり」②	手話語り(びんぼうゆすり)をビデオに再収録
成績評価の方法	事前収録課題と再収録課題による	
成績評価基準の内容	授業への参加態度(20%)、課題提出【事前収録と再収録】(40%)、再検証と習得(40%)	
教科書(テキスト)	なし	
教員紹介	NPO法人手話教師センター登録手話教師、NHK手話ニュースキャスター(ろう者)	

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅲ			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	160 時間	単位数	10 単位 ●
担当教員	加藤 小夜里	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	NA(ナチュラル・アプローチ)では、文法に着目した表出トレーニングを行わないため、この科目において、文法を中心にアウトプットを意識した指導を行なう。
到達目標	手話の文法的知識を適切に意識できるようになる
授業内容(予定)	
1	自己紹介(文法トレーニング) 音韻トレーニング(指文字)
2	下の名前を表出(指文字、音韻トレーニング) yes/no疑問文のNM表出トレーニング
3	指文字の表出トレーニング(復習) wh疑問文のNMトレーニング
4	数字の表出トレーニング(復習) 音韻トレーニング(指文字)
5	指文字の表出トレーニング(復習) yes/no疑問文、wh疑問文、否定文のNM表出トレーニング
6	数字の表出トレーニング(復習) wh疑問文と分裂疑問文
7	平叙文と分裂文 依頼と回答の練習
8	基本語順の表出(1人1例文):SOV 基本手型とG型の語
9	国名と首都名 ミニマルペアを作ろう
10	指文字のテスト 数字のテスト
11	－
12	－
13	－
14	－
15	－
成績評価の方法	授業態度と実技
成績評価基準の内容	授業への参加態度(50%)、実技(25%)、リアクションペーパー(25%)
教科書(テキスト)	参考:『日本手話のしくみ』(大修館書店)
教員紹介	手話通訳学科専任教官(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅲ(CL・基礎)			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	160 時間	単位数	10 単位 ●
担当教員	小林 京子 小林 信恵	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	CL(分類辞)の基礎トレーニング
到達目標	手話表現の中でCLを使いこなせるようになる
授業内容(予定)	
1	CL1 (指さし)1本の線
2	CL2 平面(図形)
3	CL3 立体(図形)
4	CL4 CL動詞
5	CL5 顔の特徴・服の模様
6	CL6 手足CL
7	CL7 拡張CL
8	CL8 人物CL
9	CL9 スポーツCL
10	CL10 怪我(体験)
11	CL構文 座る・立つ
12	CL構文 蓋を開ける(壺、チューブ等)
13	CL構文 割れる(ガラス、コップ、陶器、携帯電話の画面等)
14	まとめ
15	ー
成績評価の方法	実技
成績評価基準の内容	授業への参加態度(50%)、実技(50%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	NPO法人手話教師センター登録手話教師、早稲田大学非常勤講師(ろう者) NPO法人手話教師センター登録手話教師(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅲ(CL・応用)			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	160 時間	単位数	10 単位 ●
担当教員	小林 京子	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	CL(分類辞)の基礎トレーニング
到達目標	手話表現の中でCLを使いこなせるようになる
授業内容(予定)	
1	CL構文 開く／開ける、閉まる／閉める(自動詞／他動詞)
2	CL構文 いろいろな「紙」と文房具
3	CL構文 いろいろな「木」と山
4	CL構文 服、装身具
5	CL構文 トイレットペーパーの芯
6	CL構文 マッサージ
7	CL構文 赤ちゃん
8	CL構文 歩く／走る
9	CL構文 空気(乾燥、潤い)
10	CL構文 バーベキュー
11	CL構文 発明品(暮らしのアイデア)
12	CL構文 トレースCL:しかく
13	CL構文 CL名詞/副詞/動詞(ペットボトル)
14	CL構文 トウモロコシ
15	CL構文 特急・新幹線の座席の倒し方
16	応用(復習)
17	応用(復習)
18	応用(復習)
19	応用(復習)
20	応用(復習)
成績評価の方法	実技
成績評価基準の内容	授業への参加態度(50%)、実技(50%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	NPO法人手話教師センター登録手話教師、早稲田大学非常勤講師(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅲ(身体表現)			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	160 時間	単位数	10 単位 ●
担当教員	雫境	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	パントマイム技法を通じて、非言語(ノンバーバル)情報の「発信力」と「観察力」を高度化させる。手話表現における空間構築や視覚的リアリティの向上を目指す。
到達目標	存在しない壁や物体の視覚化、および感情や抵抗の全身表現。
授業内容(予定)	
1	舞踏とマイムの違いについて・感情表現:喜怒哀楽のスイッチング
2	対象物がある表現(1):コップ・カップ・皿・盆
3	対象物がある表現(2):ボール・風船
4	対象物がある表現(3):バッグ・棒・草花
5	対象物がある表現(4):本・料理道具
6	固定点の表現(1):壁・机
7	固定点の表現(2):扉・窓
8	高低差の表現(1):階段・螺旋階段
9	高低差の表現(2):梯子・段差のある手摺
10	前期分総合復習:感情・対象物・固定点・高低差の表現
11	抵抗の表現(1):綱・糸
12	抵抗の表現(2):重い物・軽い物
13	移動の表現:歩行・走行
14	パントマイムの創作1(各自・グループによる作品作り)
15	パントマイムの創作2(各自・グループによる作品作り)
16	パントマイムの創作3(各自・グループによる作品作り)
17	パントマイムの創作4(各自・グループによる作品作り)
18	パントマイムの創作5(各自・グループによる作品作り)
19	パントマイムの創作6(各自・グループによる作品作り)
20	パントマイムの創作7(各自・グループによる作品作り)
21	ミニ発表会:成果の披露と講評
成績評価の方法	実技、発表
成績評価基準の内容	授業への参加態度(50%)、実技(25%)、発表(25%)
教科書(テキスト)	特になし(適宜資料を配布)
教員紹介	舞踏家(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅲ(ろう文化)			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	160 時間	単位数	10 単位 ●
担当教員	今井ミカ・那須映里	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	・場面に応じたふさわしい言語行動を身につける ・ワークショップ 顔の向け方、手の形、呼び方、姿勢、視線、歩き(移動)など
到達目標	・ろう文化:言語行動面において、「小さなサインを見逃さない」「注意力を払う」「身につける」を目標とする
授業内容(予定)	
1	呼び方:呼ぶときの手の形と動き
2	呼び方:呼ぶときのタイミング
3	立ち方:待機中の姿勢、視線
4	立ち方:立つ、座る、視線
5	反応の仕方:受け答えするときの視線
6	反応の仕方:同意と否定の姿勢と視線
7	通訳前(想定):待ち合わせ、確認方法、挨拶
8	通訳中(想定)の行動:休憩、呼びかけ、知らせる、気づかせる
9	通訳(想定)交代の仕方:歩く、立つ位置、指示(サイン)に気づける
10	通訳後(想定):挨拶、場を去ることを知らせる
11	—
12	—
13	—
14	—
15	—
成績評価の方法	実技、発表
成績評価基準の内容	授業への参加態度・意欲(50%)自ら考え、質問や相談をしながらワークに取り組んでいるか。実践的対応力(50%)文化の違いを理解し、学んだマナー行動として実現できているか。
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅲ(CL)			授業形態	実技
履修学年	2年生(36期)	時間数	40 時間	単位数	2 単位 ●
担当教員	小林 京子	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	事前課題あり。事前に違いを調べ、日本手話で説明。ビデオに収録。授業当日、全員で視聴し、評価。 説明する相手は、日本語の不得手な中年のろう者を想定。
到達目標	日本語の不得手な中年のろう者に日本手話で説明できる
授業内容(予定)	
1	叔父さん・伯父さん・小父さん／叔母さん・伯母さん・小母さん の違いを説明しなさい
2	「バター」と「マーガリン」の違いを説明しなさい
3	「濃口しょうゆ」と「薄口しょうゆ」の違いを説明しなさい。
4	「ちらし寿司」と「五目寿司」の違いを説明しなさい。
5	「硬水」と「軟水」の違いを説明しなさい。
6	「以下」と「未満」の違いを説明しなさい。
7	「ウインナー」と「ソーセージ」の違いを説明しなさい。
8	「砂漠」と「砂丘」の違いを説明しなさい。
9	「レンタル」と「リース」の違いを説明しなさい。
10	「警察庁」と「警視庁」の違いを説明しなさい。
11	「おざなり」と「なおざり」の違いを説明しなさい
12	「賞味期限」と「消費期限」の違いを説明しなさい。
13	「動産」と「不動産」の違いを説明しなさい
14	「心肺停止」と「死亡」の違いを説明しなさい。
15	「保護観察」と「執行猶予」の違いを説明しなさい。
16	「期日前投票」と「不在者投票」の違いを説明しなさい。
成績評価の方法	事前課題の提出、実技
成績評価基準の内容	授業への参加態度(50%)、課題提出・内容(25%)、実技(25%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	NPO法人手話教師センター登録手話教師、早稲田大学非常勤講師(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅲ			授業形態	実技
履修学年	2年生(36期)	時間数	40 時間	単位数	2 単位 ●
担当教員	米内山 昭枝	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	・時事用語・キーワードを事前に調べ、その意味を手話でプレゼンする。 -発表時間は1人あたり1～2分程度。 -プレゼンの対象者は、日本語が不得手なろう者を想定。 -手話動画をクラスルームに提出する。 ・時事用語・キーワードを含む記事を事前に読み、その内容を手話に翻訳する。 -翻訳した手話をビデオ収録し、クラスルームに提出。
到達目標	情報収集力・分析力・プレゼン能力を高める。
授業内容(予定)	
1	ホルムズ海峡
2	武力行使容認の決議案提示 ホルムズ海峡安全確保で一国連安保理
3	台湾有事
4	「中国、27年の台湾侵攻計画せず」高市首相発言は重大転換―米報告書
5	リスキリング義務化
6	学び直しが社員を追い詰めていないか。2026年に問われる、形骸化したリスキリングの罫と真の成長支援
7	次世代EDR
8	ランサムウェア被害件数が中小企業で37%増。従来対策の限界を超える、次世代EDRという選択肢
9	ディープフェイク
10	「ディープフェイクであろうと、虐待は虐待だ」
11	AGI(汎用人工知能)
12	「プロジェクトの仕切り役は、AI君に任せたい」…人間並み知能「AGI」がいる未来、私たちは共生できるのか
13	
14	
15	
成績評価の方法	授業態度と実技
成績評価基準の内容	授業への参加態度(20%)、情報収集・分析・プレゼン(40%)、翻訳(40%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅲ(身体表現)			授業形態	実技
履修学年	2年生(36期)	時間数	40 時間	単位数	2 単位 ●
担当教員	五十嵐 由美子	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	手話通訳者に必要な立ち居振る舞いを身につける
到達目標	手話通訳者として適切な立ち居振る舞いができる
授業内容(予定)	
1	ウォーキングレッスン1(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
2	ウォーキングレッスン2(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
3	ウォーキングレッスン3(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
4	ウォーキングレッスン4(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
5	ウォーキングレッスン5(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
6	ウォーキングレッスン6(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
7	ウォーキングレッスン7(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
8	ウォーキングレッスン8(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
9	ウォーキングレッスン9(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
10	ウォーキングレッスン10(ゆっくり歩く たち止る ターンする 静止する 座る 立ち上がる 交代する)
11	—
12	—
13	—
14	—
15	—
成績評価の方法	授業態度と実技評価
成績評価基準の内容	授業への参加態度(50%)、実技(50%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	俳優(ろう者)、日本ろう者劇団

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅳ(3グループ)			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	60 時間	単位数	4 単位 ●
担当教員	野口 岳史	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	表出力と翻訳カトレーニングをするとともに、 2つの言語の類似点と相違点を理解することを目標とする。
到達目標	日本語と日本手話の違いをふまえた表出および翻訳ができる
授業内容(予定)	
1	表出トレーニング①
2	表出トレーニング②
3	表出トレーニング③
4	表出トレーニング④
5	表出トレーニング⑤
6	表出トレーニング⑥
7	表出トレーニング⑦
8	表出トレーニング⑧
9	表出トレーニング⑨
10	表出トレーニング⑩
11	表出トレーニング⑪
12	表出トレーニング⑫
13	表出トレーニング⑬
14	表出トレーニング⑭
15	表出トレーニング⑮
16	翻訳トレーニング①
17	翻訳トレーニング②
18	翻訳トレーニング③
19	翻訳トレーニング④
20	翻訳トレーニング⑤
21	翻訳トレーニング⑥
22	翻訳トレーニング⑦
23	翻訳トレーニング⑧
24	翻訳トレーニング⑨
25	翻訳トレーニング⑩
26	翻訳トレーニング⑪
27	翻訳トレーニング⑫
28	翻訳トレーニング⑬
29	翻訳トレーニング⑭
30	翻訳トレーニング⑮
成績評価の方法	実技
成績評価基準の内容	授業への参加態度(50%)、実技(50%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	手話通訳学科専任教官(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話Ⅳ			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	60 時間	単位数	4 単位 ●
担当教員	福光 あずさ	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	手話で説明する力を身につける。 宿題あり:与えられた課題を調べ、手話で説明したものをビデオに収録。時間は問わない。授業当日にコメントをもらう。コメントをもとに再収録したものを2回目の授業でチェック(再検証)。
到達目標	さまざまな話題に関しても対して手話で説明できる
授業内容(予定)	
1	名前の紹介
2	数字・年齢
3	家族構成
4	自己紹介(職業)①
5	自己紹介(職業)②
6	出身地
7	略歴①
8	略歴②
9	曜日①
10	曜日②
11	タイムテーブル①
12	タイムテーブル②
13	通勤通学①
14	通勤通学②
15	嗜好品①
16	嗜好品②
17	食習慣①
18	食習慣②
19	スポーツ①
20	スポーツ②
21	旅行①
22	旅行②
23	病気と怪我①
24	病気と怪我②
25	自動車
26	自転車
27	家①
28	家②(間取り)
29	仕事・職場①
30	仕事・職場②
31	約束・待ち合わせ①
32	約束・待ち合わせ②
33	映画
34	災害
35	美容院・床屋
36	家電製品
37	銀行・カード
38	ショッピング
39	インターネット
40	まとめ
成績評価の方法	事前収録課題と再収録課題による
成績評価基準の内容	授業への参加態度(20%)、課題提出・内容(40%)、実技(40%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	NPO法人手話教師センター登録手話教師、日本社会事業大学非常勤講師(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話IV			授業形態	実技
履修学年	2年生(36期)	時間数	40 時間	単位数	2 単位 ●
担当教員	福光 あずさ	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

●同科目において他授業あり

※実務経験ある教員等による授業科目

授業概要	手話で説明する力を身につける CL構文 & RS構文トレーニング 1 動画を視聴し、ポイントを整理する。 ・手話で簡潔に説明し、ビデオに収録する。 ・クラスルームに提出する(YouTube限定公開リンク)。 ・授業当日にビデオを確認し、フィードバックを行う。 2 先生のコメントをもとに再収録し、クラスルームに提出する。2回目の授業でフィードバックを受ける。
到達目標	さまざまな話題に関してろう者に対して手話で説明できる
授業内容(予定)	
1	缶蹴りの遊び方1
2	缶蹴りの遊び方2
3	吹き矢の作り方1
4	吹き矢の作り方2
5	プリンができるまで1
6	プリンができるまで2
7	ドーナツの作り方1
8	ドーナツの作り方2
9	テーブルマナー講座 ナイフ&フォークの基本1
10	テーブルマナー講座 ナイフ&フォークの基本2
11	トマトの皮むき1
12	トマトの皮むき2
13	勝手口の空き巣手口と防犯対策1
14	勝手口の空き巣手口と防犯対策2
15	大腸内視鏡検査 検査の流れ1
16	大腸内視鏡検査 検査の流れ2
17	電車ができるまで1
18	電車ができるまで2
19	野球のルール ポジション篇1
20	野球のルール ポジション篇2
21	大相撲のルール1
22	大相撲のルール2
成績評価の方法	事前収録課題と再収録課題による
成績評価基準の内容	授業への参加態度(20%)、課題提出・内容(40%)、実技(40%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	NPO法人手話教師センター登録手話教師、日本社会事業大学非常勤講師(ろう者)

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話V(デフゲスト)			授業形態	実技
履修学年	1年生(37期)	時間数	20 時間	単位数	1 単位
担当教員	ゲストスピーカー	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

授業概要	多様な手話話者の多様な語りにふれるために、ゲストスピーカーを招いて話を聞く。
到達目標	多様な手話話者(とはいえ、講演等で話し慣れている人を中心に)多様な語りを理解できる
授業内容(予定)	
1	ゲストスピーカーの講演①
2	ゲストスピーカーの講演②
3	ゲストスピーカーの講演③
4	ゲストスピーカーの講演④
5	ゲストスピーカーの講演⑤
6	ゲストスピーカーの講演⑥
7	ゲストスピーカーの講演⑦
8	ゲストスピーカーの講演⑧
9	ゲストスピーカーの講演⑨
10	ゲストスピーカーの講演⑩
11	－
12	－
13	－
14	－
15	－
成績評価の方法	出席と授業態度
成績評価基準の内容	授業への出席(25%)、参加態度(25%)、リアクションペーパー提出・内容(50%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	さまざまな経歴をもつ手話母語話者

令和8年度 手話通訳学科 シラバス(授業計画)

授業科目	手話V(デフゲスト)			授業形態	実技
履修学年	2年生(36期)	時間数	20 時間	単位数	1 単位
担当教員	ゲストスピーカー	履修分類	専門科目	科目分類	手話実技

授業概要	多様な手話話者の多様な語りにふれるために、ゲストスピーカーを招いて話を聞く。
到達目標	多様な手話話者(とはいえ、講演等で話し慣れている人を中心に)多様な語りを理解できる
授業内容(予定)	
1	ゲストスピーカーの講演①
2	ゲストスピーカーの講演②
3	ゲストスピーカーの講演③
4	ゲストスピーカーの講演④
5	ゲストスピーカーの講演⑤
6	ゲストスピーカーの講演⑥
7	ゲストスピーカーの講演⑦
8	ゲストスピーカーの講演⑧
9	ゲストスピーカーの講演⑨
10	ゲストスピーカーの講演⑩
11	－
12	－
13	－
14	－
15	－
成績評価の方法	出席と授業態度
成績評価基準の内容	授業への出席(25%)、参加態度(25%)、リアクションペーパー提出・内容(50%)
教科書(テキスト)	なし
教員紹介	さまざまな経歴をもつ手話母語話者